

日本共産党

高槻市会議員

きよた 純子

**ニュース**

2022年6月17日

7月号 NO. 110

発行：日本共産党高槻市会議員団 きよた純子

連絡先：議員団控室（市役所内）

TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

②小学校給食費を無料
に・8月29日（夏休み
明け）～来年3月23日

**③公共交通事業者への
特別応援金**

です。

ます。

高槻市の物価高騰対策

6月議会**コロナ禍での対応、まで**

原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた市民や事業者の負担軽減を目的に創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、高槻市が実施する事業の内容を紹介します。

①水道料金の基本料金を4ヶ月無料にします

一般家庭の基本料金は月額・税込759円です。奇数月検針の場合は7月～10月の使用分（9月・11月検針分）。偶数月検針の場合は8月～11月の使用分（10月・12月検針分）です。

⑤就学前の教育・保育施設への特別応援金

認定こども園・保育所・幼稚園に対して20万円を支給します。

支援金の制度化を

「コロナ禍と物価高騰の影響もあり、食糧不

く、乗合バス事業者（高速バスを除く）、タクシー事業者に給付。支給額はバス1台につき6万円、タクシー1台につき2万円です。

④社会福祉法人への特別応援金

高齢者福祉、障がい者福祉施設を経営する社会福祉法人に対して20万円を支給します。

コロナ対策国保・介護減免

コロナ前の収入を基準に減免が受けられるよう改善を

感染症の影響により（主たる生計維持者の）収入が減少した世帯に保険料の減免を行います。

減免が受けられる条件については、3割以上の収入減少が見込まれる世帯。前年の所得の合計が1000万円以下であること。収入減少が見込まれる種類の所得以外の前年の所得合計が400万円以下であることなどがあります。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

生活困窮者自立支援金の申請期限延長

国の生活支援制度のさらなる充実を求めます



足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

足になれば、長期に物価高の影響があると言われています。今後も生活に困窮する人が増えて、支援法に位置付けて恒久的な制度にすることが必要です。

(仮称)福祉ヴィレッジの整備について

高槻版の地域共生社会モデルとして、地域のつながりや高齢者・障がい者・児童等の各福祉分野を横断した福祉サービスの充実を図るため、植木団地を活用し、「(仮称) 福祉ヴィレッジ」の整備を検討しています。

日本共産党は、困難を抱える人が安心して暮らせるようにしていくためには、地域にその役割を押し付けることなく行政が責任をもって進めることが必要と考えています。今後もその立場で福祉サービスの充実を求めていきます。

●市の基本的な整備の考え方

生活上の困難を抱える高齢者や障がい者、子どもなどが地域で自立した生活を送ることができるよう、地域添つて支援をしていく観点から整備をすすめるとしています。

●想定機能

- ・地域や訪れる人のために役割を持つこと

福祉機能……

高齢者、障がい者、子どもの福祉施設や

福祉事業

年齢や障がいの有無にかかわらず集い・交流できる場所

にぎわい創造機能……

地域の方たちも日常的に過ごせる楽しめ

交流創造機能……

施設・場所

防災機能……

災害時に避難するこ

とが難しい方に向け
る空間であること
・人や地域社会と関わ
る空間であること

●空間のコンセプト

福祉ヴィレッジで過

ごす人、訪れる人、す
べての人があ

べて過ごせる空
間であること

・希望を持ち、夢を育
める空間であること

・人や地域社会と関わ
る空間であること

た防災機能
教育機能……
近隣小中学校
との教育連携
活動、講座開
催、将来の福
祉人材づくり

三島救命救急センターについて

三島救命救急センターが今年6月末で閉院することに伴い、大

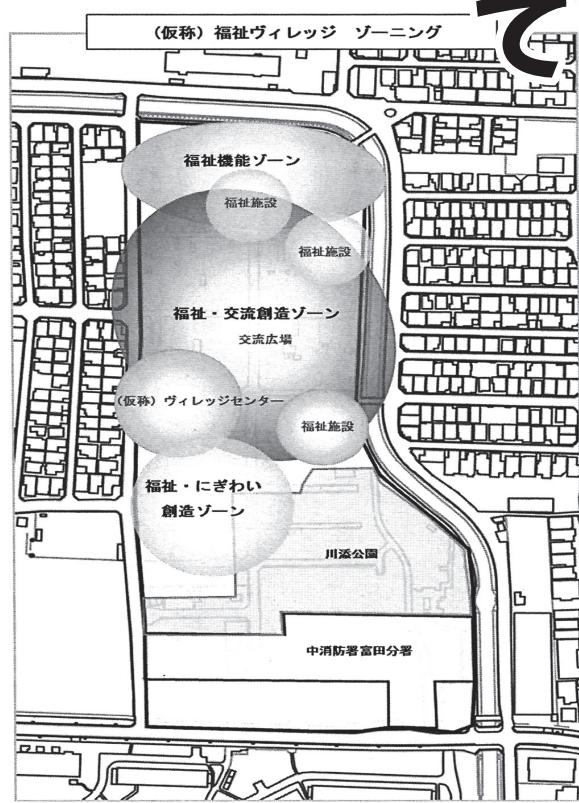
阪府医科大学病院が7月1日付で大阪府から三次救急医療機関の認定を受けます。ドクターカーは配備されま

す。三島救命救急センターは年間6億円を超える行政支援(国・府・市、摂津市、島本町の3市1町・4.5億円)を受けてきました。3市

で15億円に満たない場合は、議会での議決を前提とした上で、その不足分を高槻市が支援するとしています。そのため、阪医科大学と高槻市とで確認書を締結する予定です。

1町は、今後10年間で45億円を上限に支援する方針です。しかし、7月以降は運営形態が単独型の救命救急センターから、大学病院併設型へと変更になることから、国・府の補助金が減額される可能性があります。

救命救急センターは、365日24時間稼働するため、不採算となる可能性があります。そのため、国と大



上記は空間のイメージです。今後、地域の方々や様々な関係団体からの意見を踏まえ、修正・変更等を加えていきます。

新たな救命救急センターの体制

運営形態	大学病院併設型救命救急センター
病床数	41床(内 ICU8床、HCU12床) ICU8床の内4床は、新型コロナ感染症に対応可能 現在の体制:41床(内 ICU8床、HCU8床)
常勤医師数	20名 現在の体制:10名(2022年3月31日現在)
施設・整備	・救命救急センター専用のCT室及びエックス線室、蘇生室2室を確保 ・院内でMRI、内視鏡等検査体制を確保
特色	・大学病院併設型救命救急センターとなることで、各専門医の後方支援体制が強化され、守備範囲の広い救命救急医療により搬送困難救急患者の受け入れが可能となる。 ・三次救急患者対応専用の蘇生室を2室配置することで、重症救急患者の同時受入れが可能となる。

673-0002

生活相談 ☆ホットライン お困りごとはありませんか?

日 時: 7月 21 日木 10時~11時半

当日は電話で相談を受け付します。電話イラストの上の番号におかけください。

市会議員
きよた純子

